

# 社会連携講座と寄付講座の違い

	社会連携講座	寄付講座
資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出資元(民間企業、独立行政法人等)からの共同研究経費</li> <li>・共同研究経費(直接経費)の30%を研究支援経費とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人または団体の寄附による基金</li> <li>・寄付金額の10%~30%を研究支援経費とする</li> </ul>
趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学における教育研究の進展と充実を図り、人材育成をより活性化し、もって学術の推進及び社会の発展に寄与する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の教育研究の進展及び充実を図る</li> </ul>
教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出資元の研究者を充てることはできない(原則)</li> <li>・本学教員を充てることはできない(原則)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出資元の研究者を充てることはできない(原則)</li> <li>・本学教員を充てることはできない(原則)</li> </ul>
教員の選考と身分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の教員の選考基準に準ずる</li> <li>・「特任教授」「特任准教授」「特任講師」「特任助教」として雇用(「客員教授」「客員准教授」の称号付与が可能)</li> </ul>	
設置・運営の原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の教育研究における自主性の確保に十分配慮し、特に学部学生・大学院学生の進路に制約を課さない</li> <li>・教育研究競争力の強化、流動化、国際化、学際化及び公開化の推進に配慮する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術に関する社会的要請等への対応並びに教育研究体制における流動化、国際化、学際化及び公開化の推進に配慮する</li> <li>・本学の主体性が確保されるよう十分配慮する</li> </ul>
存続期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年以上5年以下(原則)</li> </ul>	
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出資元の研究員を民間等共同研究員として受け入れ可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出資元の研究員の受け入れが可能な身分は規定せず</li> </ul>
設置手続き	<ol style="list-style-type: none"> <li>①出資元からの「東京大学社会連携講座等申込書」の提出・受理</li> <li>②当該部局教授会承認</li> <li>③「社会連携講座等設置契約書」の締結</li> <li>④科所長会議報告</li> </ol> 以降、「共同研究契約書(社会連携講座等専用)」締結と、役員会、教育研究評議会、経営協議会報告を並行して行う	<ol style="list-style-type: none"> <li>①出資元からの「寄付申込書」の提出・受理</li> <li>②当該部局教授会承認</li> <li>③科所長会議、役員会、教育研究評議会、経営協議会報告</li> </ol>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部局長が設置する評価委員会で、毎年度及び設置期間終了後に以下について評価し部局長に報告する               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教育内容とその方法及び研究活動等</li> <li>- 講座教員の適性及び雇用延長の是非</li> <li>- その他必要な事項</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間終了後に教育研究の成果のとりまとめを行う</li> </ul>
担当事務	研究推進企画課 ※契約事務の渉外に関しては産学連携本部	研究推進企画課